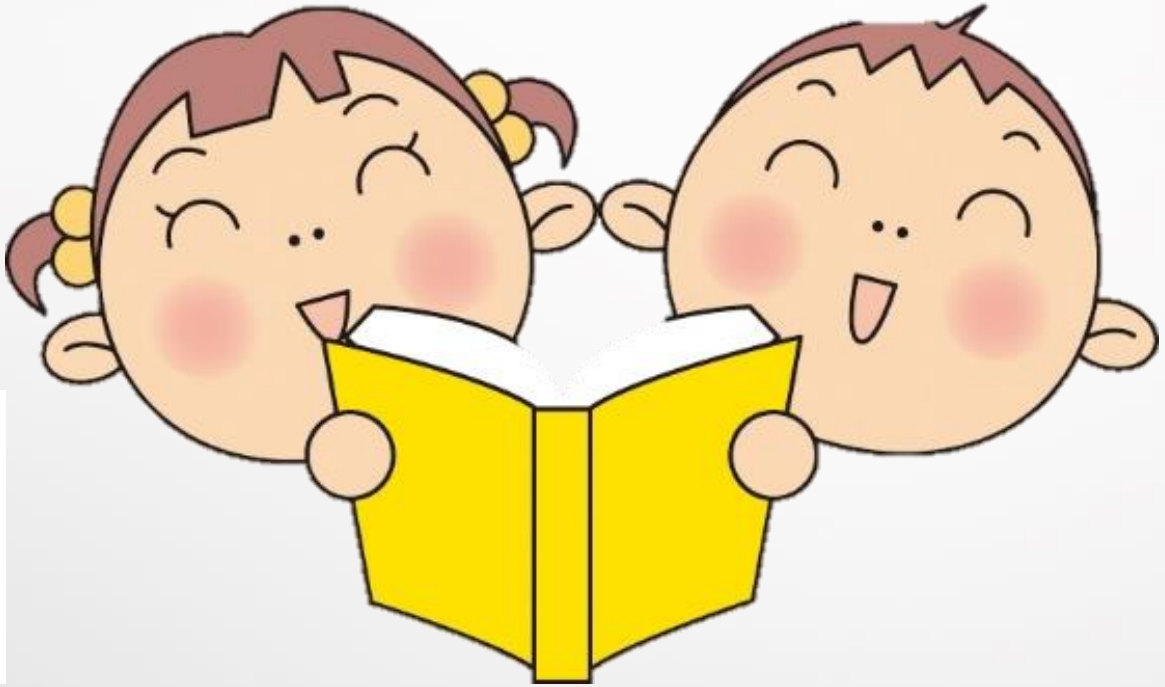
「第5次岩手県子どもの読書活動推進計画」について



第5次岩手県子どもの読書活動推進計画
https://manabinet.pref.iwate.jp/contents/child_reading/5th_plan.pdf

概要版
https://manabinet.pref.iwate.jp/contents/child_reading/5th_overview.pdf

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課
Lifelong Learning and Cultural Assets Division

© XXX Inc. All Rights Reserved.

説明内容

１　「第5次岩手県子どもの読書活動推進計画」とは

２　「Ⅰ　総論」について

３　「Ⅱ　各論」について

© XXX Inc. All Rights Reserved.

1　「第5次岩手県子どもの読書活動推進計画」とは

■ 国の動向

平成13年12月
「子どもの読書活動の推進に関する法律」（以下「読書法」）

平成14年8月
「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第一次）

平成20年3月　第二次計画

平成25年5月　第三次計画

平成30年4月　第四次計画

令和5年3月　第五次計画

■ 県の動向

平成16年3月
「岩手県子どもの読書活動推進計画」（第1次）

平成21年6月　第2次計画

平成26年6月　第3次計画

平成31年3月　第4次計画

令和6年3月　改訂
「第5次岩手県子どもの読書活動推進計画」

【主な成果】
・家庭、地域、学校、公立図書館等のそれぞれにおける子どもの読書活動の充実
・不読者（1か月に1冊も本を読まない子ども）の減少及び月あたりの読書冊数の増加

【主な課題】
・年齢が上がるにつれ読書者（1か月に1冊以上本を読んだ子ども）の割合が減少
・子どもを取り巻く環境の変化等により読書をする時間がさらに減少する懸念

「いわて県民計画（2019～2028）」

岩手県教育振興計画

踏まえて策定

■ 計画の期間

令和6年度を初年度とし、当面は、**概ね令和10年度までの5か年計画**とする。

ただし、国の計画の動向等を踏まえ、必要に応じて見直すこととする。

■ 計画の構成

Ⅰ 総論

・子どもの読書活動の意義
・国の第四次基本計画の成果と課題
・子どもの読書活動を取り巻く情勢
・国の第五次基本計画の内容
・本県の現状と課題
・本県の子どもの読書活動の推進における基本的な考え方

＋

Ⅱ 各論

・子どもの読書活動推進に向けた家庭、地域、学校等における取組状況
・これからの方向性、そのための条件整備等

子どもの読書活動の意義

読書活動は、**「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことのできないもの」**（読書法）

現代の子どもたちには、変化が複雑で予測困難な社会に対応する資質・能力が求められる。それらを育む上で、読解力や想像力、思考力、表現力等を養う読書活動は不可欠。

子どもたちは読書活動を通じて、多くの知識を得たり、多様な文化への理解を深めたりすることができる。また、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、さらなる探究心や心理を求める姿勢が培われる。

全ての子どもたちが読書活動の恩恵を受けられるよう、家庭、地域、学校等が連携し、**社会全体で**子どもの読書活動を推進する必要がある。

国の子どもの読書活動推進への取組

◆令和元年６月

「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」**（読書バリアフリー法）制定**

「**障がいの有無にかかわらず全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現に寄与**すること」

「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」**（「読書バリアフリー基本計画）の策定**

「『**誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学べる社会**』を目指すこと」

◆教育における**デジタル化**の進展

◆令和４年１月

第６次「学校図書館図書整備等５か年計画」策定

・「学校図書館図書標準」の達成
・計画的な図書の更新
・学校図書館への新聞の複数紙配備
・学校司書の配置拡充

国の子どもの読書活動推進への取組

第四次基本計画期間における現状

ア　図書館数が**過去最高**

イ　児童室を設置している図書館が**増加**

ウ　読み聞かせボランティア登録制度を設けている図書館が**増加**

エ　図書館でのオンライン閲覧目録の導入率が**増加**

オ　学校司書を配置する学校等の割合が**増加**

1か月間の平均読書冊数

	2001年度（平成13年度）		2023年度（令和5年度）
小学生	6.2冊	→	12.6冊
中学生	2.1冊	→	5.5冊
高校生	1.1冊	→	1.9冊

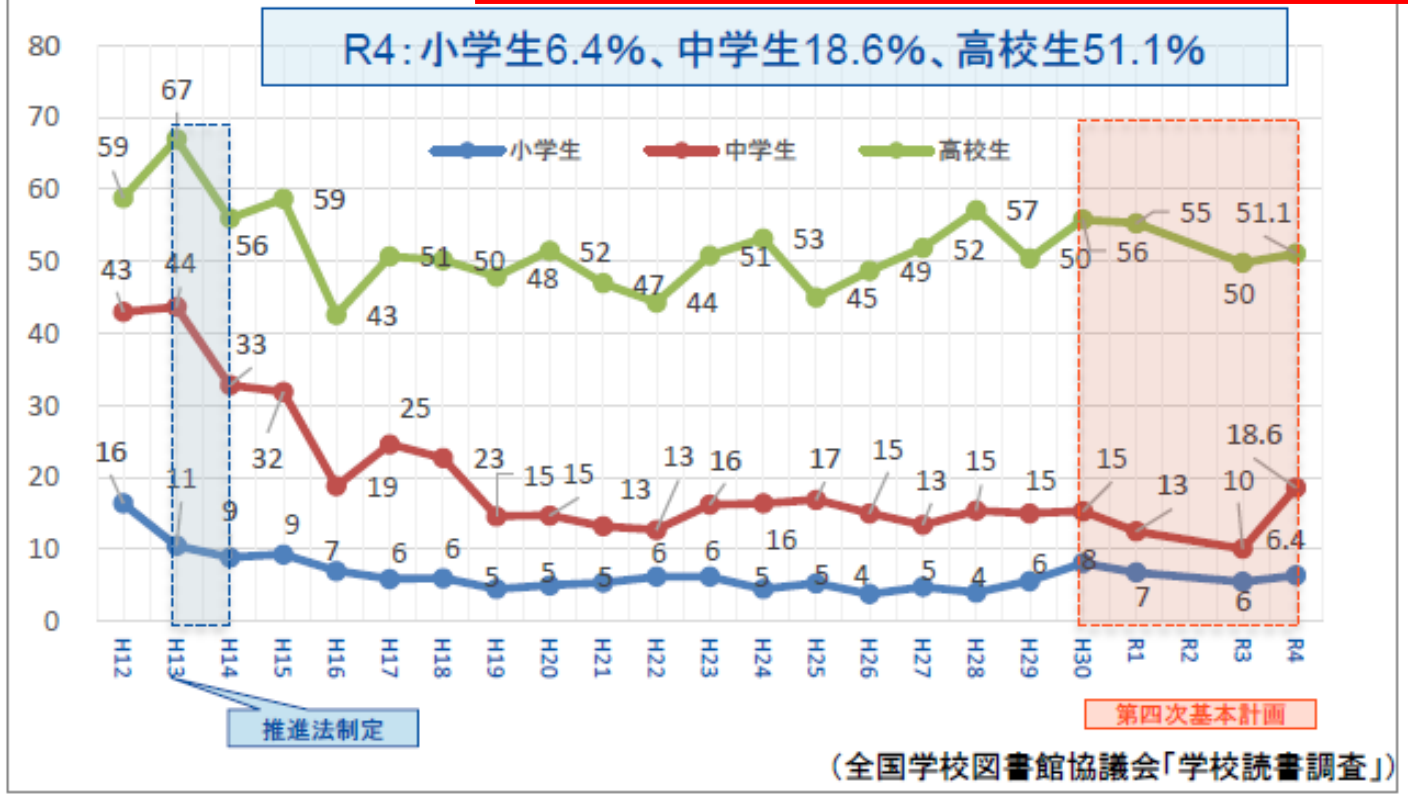
約2倍に

第四次基本計画期間における現状

不読率の現状

目標：R4年度末までに不読率：小学生2%以下、中学生8%以下、高校生26%以下
※不読率＝1か月の間に本を1冊も読まない児童生徒の割合

現状　：不読率の推移（%）　いずれの学校段階でも数値目標は達成されていない



（全国学校図書館協議会「学校読書調査」）

▲不読率

・いずれの学校段階でも、数値目標を下回った。

▲新型コロナウイルスの感染拡大による影響

・図書館へのアクセスが一定期間制限された。

・体験活動の機会が減少した。

国の子どもの読書活動推進への取組

国の第五次基本計画の策定

「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画の概要」（文部科学省）より
https://www.mext.go.jp/content/20230327mxt-chisui01-100316_02.pdf

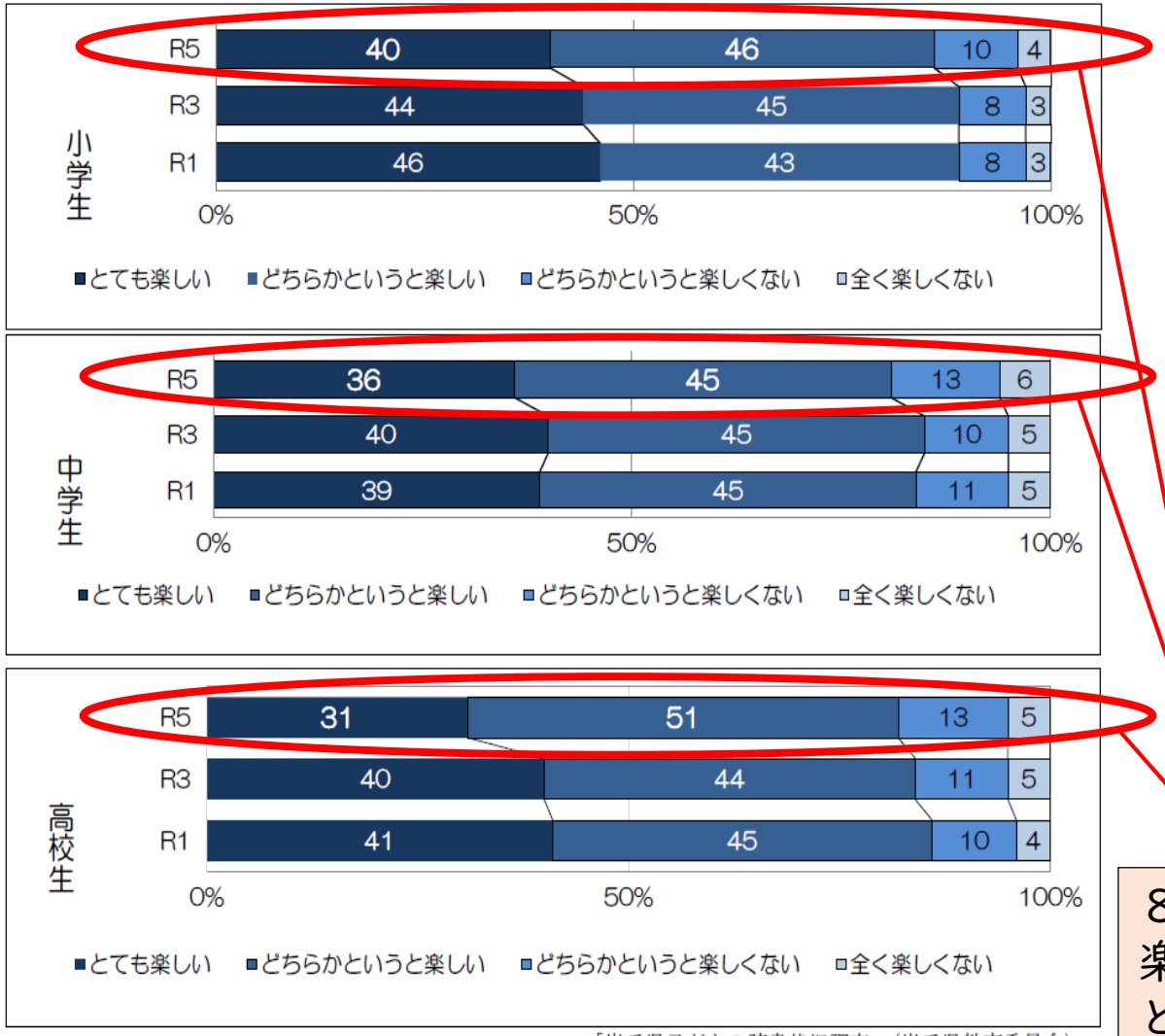
■基本方針

急激に変化する時代において、**必要とされる資質・能力を育む上で、読解力や想像力、思考力、表現力等を養う読書活動の推進は不可欠であり、全ての子どもたちが読書活動の恩恵を受けられる**よう、以下の点を考慮し、**社会全体で**子どもの読書活動を推進する。

1　不読率の低減
2　多様な子どもたちの読書機会の確保
3　デジタル社会に対応した読書環境の整備
4　子どもの視点に立った読書活動の推進

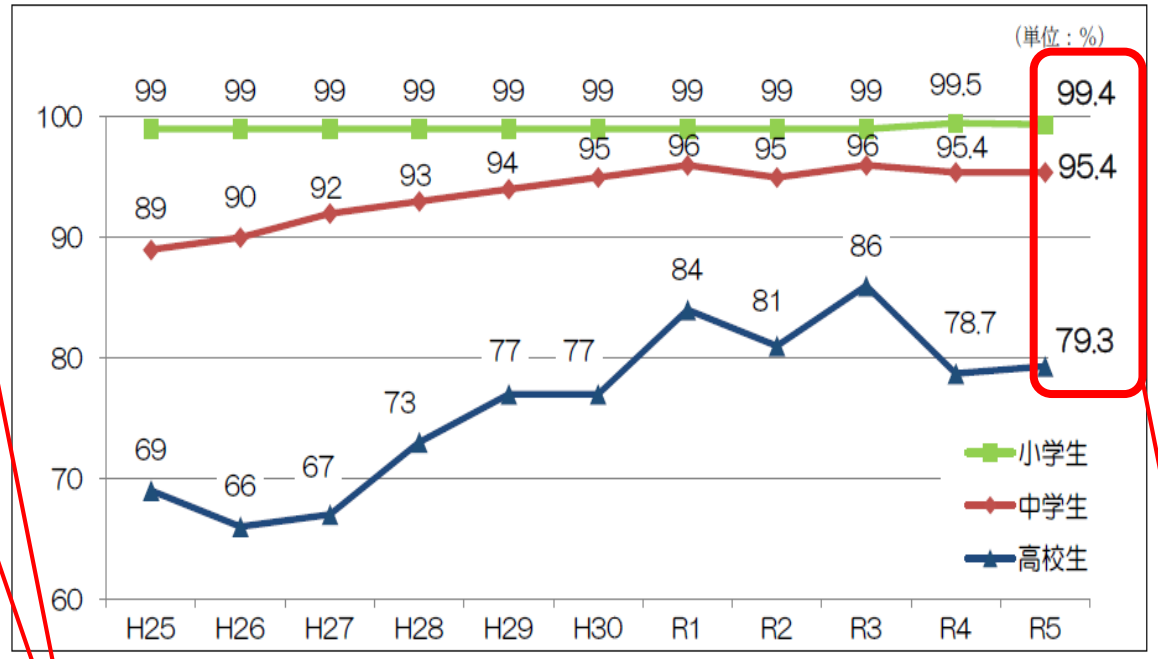
本県の現状

【指標①】「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合（単位：%）



「岩手県子どもの読書状況調査」（岩手県教育委員会）

【指標②】本県の小・中・高校生の読書者の割合



「令和５年度岩手県子どもの読書状況調査」（岩手県教育委員会）

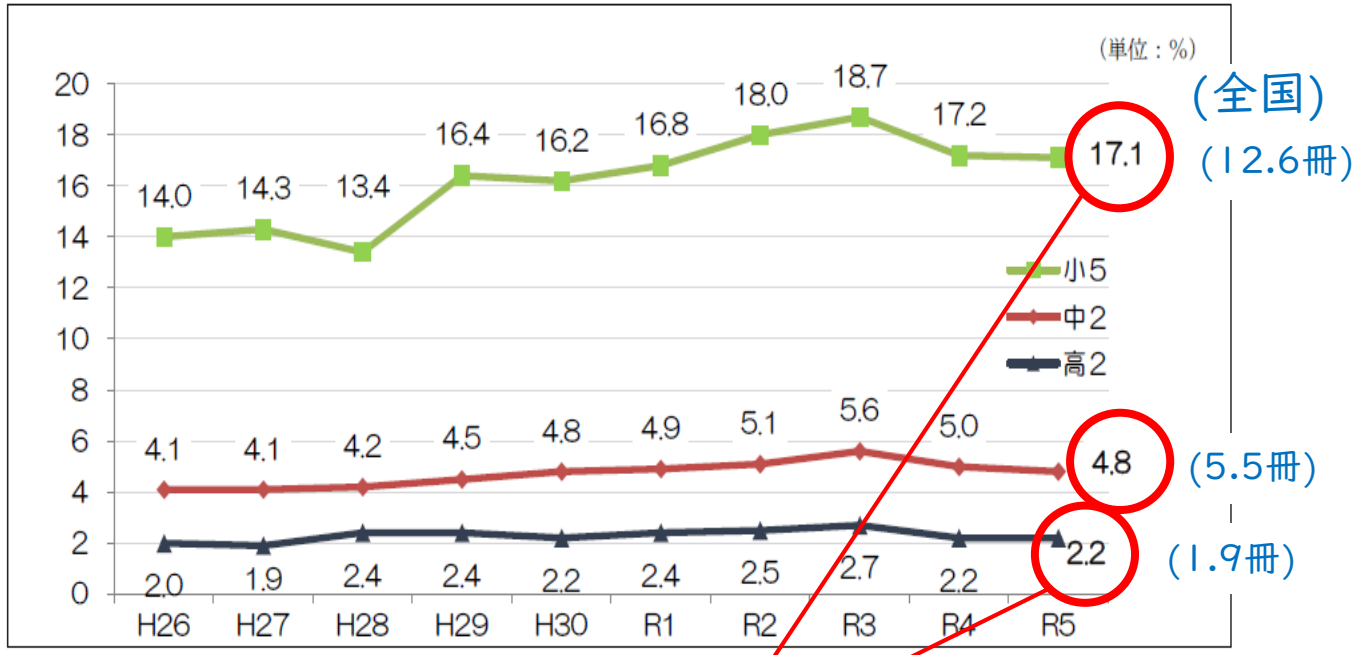
（全国）
(70.0%)
(86.9%)
(56.5%)

８割以上が読書が「とても楽しい」「どちらかというと楽しい」と回答

全校種で全国を上回っている。

本県の現状

【指標③】本県の小・中・高校生の１か月の平均読書冊数

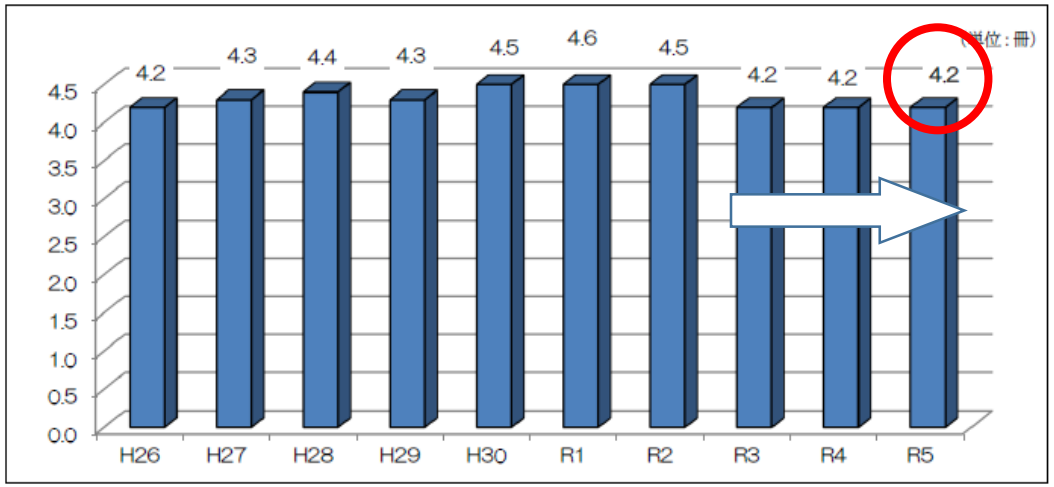


「令和５年度岩手県子どもの読書状況調査」（岩手県教育委員会）

小学生と高校生は全国を上回っている。

岩手県子どもの読書状況調査
令和5年度集計結果
https://manabinet.pref.iwate.jp/contents/child_reading/05dokusyo_kekka.pdf

【指標④】本県の県民一人あたりの図書貸出冊数

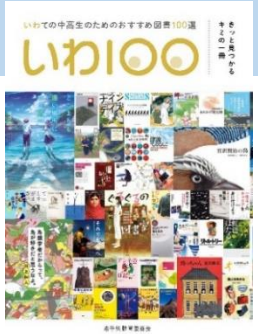


「図書館・公民館図書室等実態調査」（岩手県立図書館）

【指標⑤】県内公立図書館等における児童図書蔵書冊数

「図書館・公民館図書室等実態調査」（県立図書館調査）

本県における取組の成果と課題



成　果

◆H16 第1次推進計画策定時と比較し、
本県児童生徒の**「1か月間の読書冊数」「読書者の割合」（※）が増加**
※全国平均値と比較しても高い水準を維持

◆**「いわ100」「いわ100きっず」**を県内全小学1年生及び中学1年生に毎年配布
→各学校、各公立図書館でブックリストを活用した取組が充実

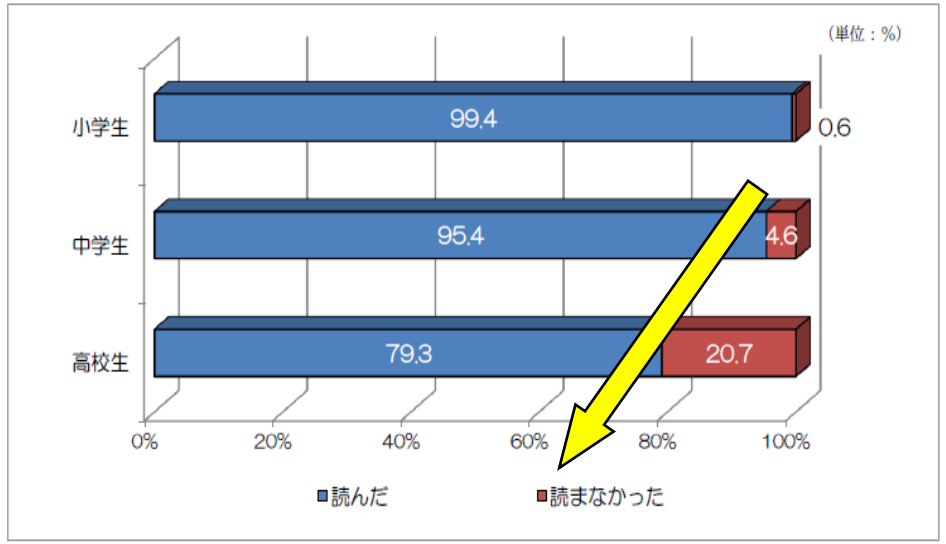
まなびネットいわて
「子どもの読書活動推進」ページ
https://manabinet.pref.iwate.jp/index.php/kosodate/dokusyo/

◆ボランティア団体等による読み聞かせや
子どもの読書環境の整備・充実（県内各市町村）

本県における取組の成果と課題

課　題

【グラフ②】１か月間で１冊以上本を読んだ本県の児童生徒の割合



「令和５年度岩手県子どもの読書状況調査」（岩手県教育委員会）

- **学年が上がるにつれて不読率が増加傾向**にあること。特にも高校生の約20%が不読者（令和5年度時点）であること
  →乳幼児期から高校生までそれぞれの発達段階に応じた取組が必要
- **デジタル社会**の進展等に対応した環境整備
- 「読書バリアフリー法」に関連した**デジタル図書や拡大図書の拡充**
- **学校図書館等**における図書資料の整備の促進
- 全ての児童生徒にとっての**居場所となるような学校図書館**の機能強化

子どもの読書活動の推進における基本的な考え方

１ 家庭・地域・学校及び関係機関の**連携協力**

２ 多様な子どもの読書活動を支える**人材育成**

３ 子どもの読書推進における**普及啓発**

４ 発達段階に応じた読書**環境の整備**

５ 子どもの読書への**関心を高める取組**の推進

子どもの読書活動の推進における基本的な考え方

Ⅰ　家庭・地域・学校及び関係機関の連携協力

・多様な子どもの自主的な読書活動を推進するため、家庭・　地域・学校を含め様々な主体それぞれが担うべき役割を自覚し、**連携協力**しながら役割を果たしていく。

「教育振興運動」に関する情報はこちら
https://manabinet.pref.iwate.jp/index.php/cooperation/kyoshin/

・本県で半世紀以上も前から推進している**「教育振興運動」**の実践を生かしながら、　読書活動の推進に積極的に取り組む。

子どもの読書活動の推進における基本的な考え方

２　多様な子どもの読書活動を支える人材育成

◆**ICTの効果的な活用**や、**視覚障がい者等が利用しやすい書籍や電子書籍**（「アクセシブルな書籍や電子書籍」）等の整備が必要である。

◆教師、保育士、学校司書、司書等子どもの読書を支える関係者に求められる**スキル等も急速に変化、複雑化**している。

◆読書ボランティア等に求められている**活躍の場**が高等学校や特別支援学校、教育支援センター等にも**広がっている**。

県や市町村、図書館等の関連機関は・・・

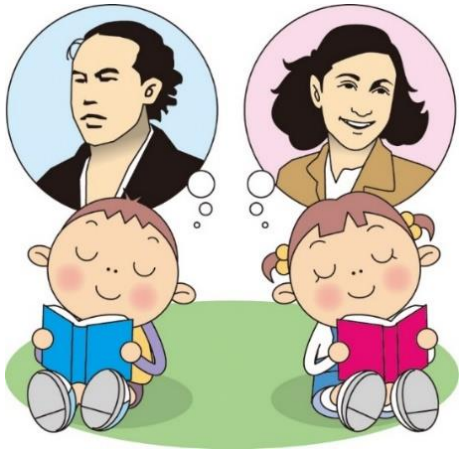
・これまでの**研修内容等の見直し**

・多様な子どもたちが読書に親しむための環境づくりに資する**人材育成**

子どもの読書活動の推進における基本的な考え方

３ 子どもの読書推進における普及啓発

子どもの読書活動の意義や必要性について、県民一人ひとりが理解と関心を深めながら、**社会全体で**読書活動を推進する機運を高めていく。



４ 発達段階に応じた読書環境の整備

乳幼児期からの**発達段階に応じた読書活動**が行われることが必要

- 「発達段階ごとの特徴を踏まえつつ」
- 「乳幼児、児童、生徒一人ひとりの発達や読書経験に留意し、」
- 「家庭、地域、学校等において読書を楽しむ習慣を形成するための取組が進められることが重要」

子どもの読書活動の推進における基本的な考え方

５　子どもの読書への関心を高める取組の推進

・読書への関心を高める取組を**継続的に**行う。

・子ども自身による読み聞かせなど、読書活動を通したボランティア活動を促進することも、**より主体的な読書活動の推進**につながる。

・子どもに**「心に残る一冊の本」に出会うきっかけ**を作る（例．ブックリスト「いわ100」及び「いわ100きっず」を活用した幅広い取組）。

読書への関心を高める取組の例

①読み聞かせ
②お話
（ストーリーテリング）
③ブックトーク
④読書会
⑤書評合戦
（ビブリオバトル）
⑥ピッチトーク
⑦ペア読書
⑧味見読書
⑨ブッククラブ
⑩リテラチャー・サークル
⑪アニマシオン
⑫本探しゲーム
⑬図書委員、読書リーダー等の読書推進活動
⑭子ども同士の意見交換を通じて、一冊の本を「〇〇賞」として選ぶ取組
⑮読書新聞や読書ポスター、本の帯やPOPの作成
⑯自分も書き手となる
⑰映画等と原作の比較
⑱まわし読み新聞
⑲読書の記録

3 「Ⅱ 各論」について

それぞれの立場の役割や、期待される取組、県の取組の方向性等を示している。

家庭・地域・学校等における子どもの読書活動の推進（本文：Ⅱ各論,第1章）

家 庭

【家庭の役割】

■子どもが読書に親しむきっかけを作るとともに、子どもの読書に対する興味や関心を引き出す

■一方的に読書を「させる」のではなく、保護者も「共に取り組む」

【家庭に期待される取組】

■家庭内に子どもが本を身近に感じる環境を作るとともに、家族が一斉に読書をする時間を設け、子どもと一緒に本を読んだり、読み聞かせを行ったりする「家読（うちどく）」の積極的な取組

■公立図書館を家族で利用する機会を持つことなど、子どもの発達段階に応じた継続的な取組

■家族で読書を通じて感じたことや考えたことを話し合ったり、お互いが読んでいる本を紹介し合ったりすること、地域で行われている読書活動への参加を促す声がけ

■点字図書、デジタル録音図書等、視覚障がい者等が利用しやすい図書への理解

地 域

【地域の役割】

■読み聞かせ会や人形劇等の公演、地域文庫の開設など、子どもが本に親しむ様々な機会の提供

■「教育振興運動」や地域学校協働活動による読み聞かせや図書館の環境整備、本の修理・修繕等の継続・充実

【地域に期待される取組】

■「教育振興運動」や地域学校協働活動による、子どもの発達段階に応じた本との豊かな出会いの創出

■ブックトーク、書評合戦（ビブリオバトル）、子ども司書、子どもコンシェルジュ等、子どもの読書への関心を高める取組の実施 等

■中高生が公立図書館と連携し、お薦め図書の紹介やイベント等を行うこと

■家庭や学校等とのさらなる連携

学 校 等

【学校の役割】

■児童生徒の自発的な読書活動及び資料を活用した情報の収集活用等の学習活動を充実させること

■乳幼児が絵本や物語に親しむ活動を積極的に行うとともに、保護者に対し、読み聞かせ等の大切さや意義を普及

【学校に期待される取組】

■読書機会の拡充や図書の紹介、デジタル資料等、様々な図書に触れる機会の確保

■児童生徒の学校図書館運営への参画や主体的なイベントの開催等、児童生徒の意見を反映させた読書に親しむ取組の展開

■点字図書や音声図書など、「読書バリアフリー法」の趣旨を踏まえた、一人ひとりの教育的ニーズに応じた様々な図書館資料の整備

■図書館における、別室登校や特別な配慮が必要な児童生徒等、全ての児童生徒にとって安全・安心な居場所としての活用

読書活動推進のための施設・設備 図書館資料等の諸条件の整備・充実（本文：Ⅱ各論,第2章 ）

公立図書館

【公立図書館の役割】

■子どもや保護者が豊富な蔵書の中から読みたい本や読ませたい本を選択したり相談したりできる場所

■読み聞かせ会や展示会の実施及び読書活動の推進団体支援、関係者の研修等

【県の取組の方向性】

■職員の資質向上を図るための研修機会の提供及び公立図書館等のネットワーク強化

■視覚障がい者等が利用しやすい電子書籍等の整備・提供に努める必要性の普及啓発、障がい者団体等との連携を図ること、それに対応する図書館職員等の研修会の実施

■ブックトーク、ビブリオバトル等、イベントの開催及び企画段階から子どもが参画した読書への関心を高める取組の推進

■障がいのある子どもやその保護者等からの意見を反映させた図書館の環境づくりの推進

学校図書館

【学校図書館の役割】

■「読書センター」、「学習センター」、「情報センター」としての機能

■児童生徒の主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善に生かすこと

【県の取組の方向性】

■学校図書館標準に基づく図書標準達成校増加の促進

■司書教諭の配置拡充による機能充実及び研修や事例共有による公立図書館との連携促進

■ NIE （ Newspaper in Education：学校などで新聞を教材として活用すること）の取組推進

■公立図書館の資料、サービスの積極的な活用

■別室登校や特別な配慮が必要な児童生徒等、全ての児童生徒にとって安全・安心な居場所づくりの促進

関係機関等との連携協力及び推進体制の整備・充実

（本文：Ⅱ各論 第3章）

【県の取組の方向性】

■図書館相互の協力による図書館サービスの向上

■書店や出版社と連携協力した読書推進及び機運醸成

■学校、ボランティア団体、公立図書館等のネットワークの整備充実

■読書活動推進に関する情報や啓発資料の周知

■総合的な施策推進のための体制整備

■ブックリストの配付や各種講座等の実施による情報提供、普及啓発

■「読書バリアフリー法」を踏まえた各種研修会の実施及び好事例の紹介

例①　「地域における読書活動の推進」

地域の役割

・図書館や公民館、学校、児童館、放課後子ども教室及び地域の民間団体が相互に連携
・「教育振興運動」としての取組
・地域学校協働活動の一つとしての読み聞かせや図書館の環境整備等

地域に期待される取組

・「教育振興運動」や地域学校協働活動による本との豊かな出会いの場の創出
・親子対象の読み聞かせ会等
・読書の価値の再認識
・読書への関心を高める取組
・子ども自身による読み聞かせ
・中高生による公立図書館等との連携

これまでの県の主な取組

・各教育事務所管内での「子どもの読書推進会議」「読書ボランティア等研修会」等を実施し、ネットワーク形成、スキルアップ向上を支援
・「子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）文部科学大臣表彰」への推薦、好事例の周知

県の取組の方向性

・ボランティアの養成や資質向上、ネットワーク形成
・読書への関心を高める取組や子どもによる読書を通したボランティア活動に関する先進的事例の情報提供
・地域ボランティア等に対するアクセシブルな書籍や電子書籍の利活用に係る情報提供

現状と課題

・多様な子どもたちの読書機会の充実に向けた研修の一層の充実
・ボランティア養成やスキルアップ、ネットワーク形成
・県内の公立図書館等における県民の読書意欲の高揚と読書普及の推進に資する取組

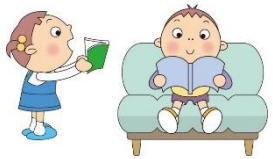
市町村に期待される取組

・市町村立図書館における児童サービスの充実
・地域ボランティア団体等への支援
・読書活動推進の奨励と支援
・読書への関心を高める取組や、子どもによる読書を通したボランティア活動に関する情報や機会の提供

例②　「連携協力による子どもの読書活動の普及啓発」

これまでの県の主な取組

・「まなびネットいわて」や各種研修会での情報発信
・家庭教育や子育て支援のための講座や研修会等を通じて読書活動の重要性について周知啓発
・県内各地の取組事例の紹介・普及



現状と課題

・定期的なブックリストの更新と活用事例の周知
・家庭教育や子育て支援のための講座や研修等における読書活動の普及・奨励
・小中学校の特別支援学級及び特別支援学校における読書推進の好事例を収集・紹介
・民間団体及び公立図書館等との連携

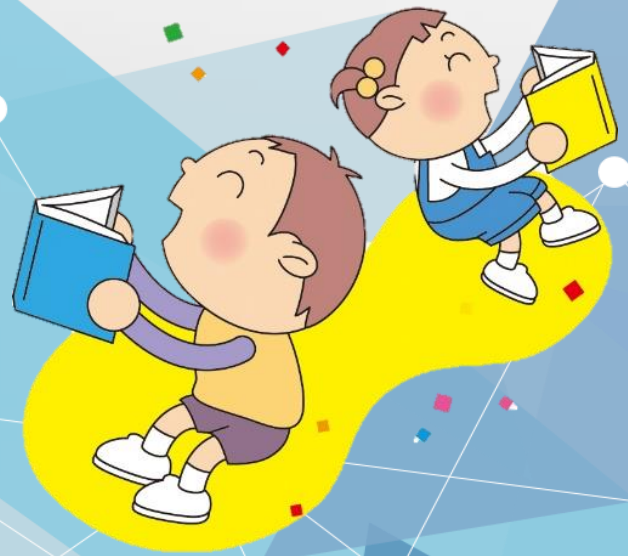
県の取組の方向性

・家庭教育や子育て支援のための講座や研修会等を通じて読書活動の重要性を周知啓発
・「教育振興運動」や地域学校協働活動をはじめとした子どもの読書活動の推進に資する多様な好事例の紹介
・小中学校の特別支援学級及び特別支援学校における読書推進の好事例を収集・紹介

市町村に期待される取組

・身近な情報や啓発資料等の提供
・家庭教育学級等における、子どもの読書活動の重要性に関する学習機会の提供
・「教育振興運動」や地域学校協働活動における多様な読書活動の奨励
・特色ある地域の読書推進活動に関する情報提供
・多様な子どもたちの居場所や学習の場における読書推進事例の収集
・地域の民間団体との連携

本県の子どもたちが読書活動に魅力を感じ、主体的に取り組むことができる環境づくりの推進に、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



みんなで教振!
いわてが誇る教育振興運動!

教振 60th
Education Promotion Initiative since1965

© XXX Inc. All Rights Reserved.